

保護者様

つくばみらい市立小絹中学校長 宇津木 千恵美

学校評価アンケートの結果について

寒冷の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校教育推進にご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、12月に実施した学校評価アンケートには、たくさんの保護者の方々に回答していただき、ありがとうございました。回答をもとに、生徒が学校生活に満足できる学校を目指して改善をしていきます。

つきましては、下記の通り報告いたします。

記

1 自己表現（数値目標70%）	[生徒]	[教職員]	[保護者]
(1) 授業で、自分の考えを表現できているか。			
・とてもそう思う・そう思う	78%	92%	37%
(2) 表現できている場面			
・自分の考えを書くとき	79%	92%	36%
・グループ活動するとき	68%	50%	27%
・ペアで活動するとき	54%	58%	14%
・発表するとき	49%	58%	30%
・分からない	0%	0%	38%
2 家庭での学習	[生徒]	[教職員]	[保護者]
(1) 主体的に家庭学習に取り組んでいる。（数値目標70%）			
・とてもそう思う・そう思う	63%	92%	45%
(2) 教員の働きかけ			
・家庭学習の仕方を説明した	63%	67%	16%
・内容を例示した	39%	42%	8%
・生徒の努力を認めた	15%	42%	17%
・内容や量が見えるようにした	19%	17%	5%
・家庭学習の利点を説明した	30%	42%	7%
・分からない	0%	0%	63%
(3) 主体的に取り組んでいる家庭学習			
・学校から出された宿題	84%	100%	77%
・テストに備えた学習	76%	75%	50%
・塾から出された宿題	47%	33%	29%
・自分で決めた学習	44%	8%	30%

思考力・表現力の向上のために

生徒達は1人一台タブレット端末活用能力が一段と向上し、授業の中で効果的に活用することができています。情報収集、情報の分析・整理、まとめ・表現、振り返り等で、有効活用しています。また、グループ及びペア等の学習形態を工夫し、自分の意見・考えをアウトプットできるように指導してきました。

家庭学習については、ゲームやスマートフォン等の使用ルールを守りながら宿題以外にも学習習慣を身に付ける必要があります。基礎・基本を定着させるために、日頃からの家庭学習について保護者の協力を得ながら手立てを検討し、主体的に家庭学習に取り組むことができるように指導していきます。

3 自己肯定感

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 自分の良さや可能性を知っているか。(数値目標 85%)

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
・とても知っている・知っている	59%	100%	53%

(2) どんな活動で知ったか。

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
・部活動	68%	58%	63%
・学級の集団づくり	53%	75%	25%
・教科の学習	38%	75%	15%
・二者面談	11%	17%	9%
・スクールカウンセラーとの面談	2%	8%	1%
・委員会・生徒会活動の活性化	23%	25%	17%
・分からない	0%	0%	24%

4 生徒の不安や悩みへの対応

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 生徒が困っているときに、手助けができていますか。(数値目標 90%)

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
・とてもできている・できている	87%	100%	64%

(2) どんな手助けをしているか。

	[生徒]	[教職員]	[保護者]
・ふだんから声かけ	71%	92%	30%
・アンケートに記入された後に相談	24%	92%	9%
・困っていることを話されたときに相談	27%	58%	33%
・スクールカウンセラーと話す時間を確保	3%	50%	10%
・オンライン相談窓口で相談	5%	33%	4%
・フリースクールを利用	6%	75%	11%
・分からない	0%	0%	35%

自己肯定感の向上のために

担任とのコミュニケーションの充実を図ることで、生徒一人一人の得意分野や成功体験を認識し、褒めることを大切にしたい教育活動に努めています。また、係活動や委員会活動等、協力を重視する学習環境を作ることで、生徒同士が互いに認め、支え合うことで、自己有用感・自己存在感の向上を図っています。

生徒が「自分は受け入れられている」と感じやすくなるよう、道徳や特別活動で多様な背景や価値観を尊重する教育を行っていきます。また、朝の活動や学級活動等でエンカウンターやSST(ソーシャル・スキル・トレーニング)を継続して実施していきます。

今後も校内オンライン相談窓口を設置し、生徒が困難を抱えた際にはすぐに相談できる体制をつくっていきます。

5 規則正しい生活

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 規則正しい生活ができているか。(数値目標 80%)

・とてもできている・できている 83% 100% 73%

(2) どんなことをしているか。

・早寝・早起きをしている 52% 58% 51%
 ・朝ご飯を食べている 91% 75% 91%
 ・情報端末の制限 36% 17% 46%
 ・ゲームの制限 34% 8% 23%

6 運動への取組

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 運動に意欲的に取り組んでいるか。(数値目標 75%)

・とても取り組んでいる・取り組んでいる 70% 100% 65%

(2) どんな運動に取り組んでいるか。

・保健体育の授業 83% 92% 50%
 ・部活動 57% 92% 58%
 ・自分で決めた運動 41% 0% 26%
 ・クラブチーム 21% 67% 20%
 ・習い事 20% 17% 7%

健康への意識向上のために

朝食は、今年度も9割以上の生徒が取っています。ご家庭でのご協力に感謝します。中には、まだ欠食の生徒もいるので、今後も個別に声かけを行っていきます。

毎月の生活アンケートにおいて、起床・就寝時間を調査することで、生徒自身が生活習慣を振り返ることができるようにしました。ゲームやスマホ等使用過多の生徒も見られるため、今後も保護者の協力を得ながら手立てを検討し、健康面への影響を指導していきます。

多くの生徒が運動に意欲的に取り組んでいるので、引き続き体育の授業や部活動でサポートしたり、昼休みの外遊びを推奨したりしていきます。また、保健体育の授業でストレッチを紹介し、運動が苦手な生徒も運動習慣が身に付くようにしていきます。

7 将来のこと

[生徒]

[教職員]

[保護者]

(1) 夢や目標をもって生活しているか。(数値目標 70%)

・とてもしている・している 61% 92% 51%

(2) 親子で将来のこと話すか。(数値目標 60%)

・とても話す・話す 50% 設問なし 79%

自分をスキルアップさせる力の向上のために

仕事に必要なスキルや心構え等を身に付けていけるよう、講演会を実施したり、職業調べや職業体験を授業の中に取り入れたりしていきます。進路説明会や進路講演会を継続して実施

し、生徒が保護者と話し合う機会を設けていきます。

2年次の夏休みから高校見学に参加し、情報収集や体験活動ができるように、情報提供を行っていきます。また、3年次の高校見学後には新聞等にまとめ、保護者からコメントをいただく形をとり、親子で進路について話し合える場を設定していきます。

今後も、社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や姿勢を育んでいきます。

8 「分かった!」「できた!」を実感できる授業[生徒] [教職員] [保護者]

(1) 「分かった!」「できた!」実感しているか。(数値目標 90%)

・ととてもしている・している	91%	92%	37%
----------------	-----	-----	-----

(2) どんな授業か。

・体験を伴う活動	47%	75%	36%
・ミニテスト、練習問題	73%	50%	50%
・授業と関連する動画や写真を見た	30%	67%	13%
・実物が用意されたとき	28%	83%	12%

9 能力に合わせた活動[生徒] [教職員] [保護者]

(1) 生徒の能力に合わせた活動があるか。(数値目標 85%)

・ととてもある・ある	89%	92%	39%
------------	-----	-----	-----

(2) どんな活動か。

・教員が生徒にアドバイス	26%	75%	18%
・友達と教え合う活動	77%	67%	20%
・自分でまとめる活動	40%	42%	12%
・個人差に合わせた活動内容	15%	8%	4%
・解く問題を選択できる	17%	42%	5%
・活動を生徒が選択できる	21%	17%	15%
・写真や動画を使った活動	33%	17%	10%

自分で行動できる力の向上のために

生徒が興味をもつ学習課題を設定したり、定着を図るための多様な練習問題を取り入れたり、課題を自分で解決し、まとめ、伝え合う活動を多く設定したりして、自ら進んで行動できる生徒を育てる工夫を行っていきます。

体験的な活動を多く取り入れ、知識を生かして思考・判断する場を提供していきます。

今後も1人一台端末を有効活用し、個別最適な学習と協働的な学習を進めていきます。

10 学校からの情報[生徒] [教職員] [保護者]

(1) 学校からの情報を保護者に伝えているか。(数値目標 95%)

・ととても伝えている・伝えている	77%	100%	74%
------------------	-----	------	-----

(2) 有効だった手段

・スクリーン配信	79%	92%	91%
・ホームページ	47%	83%	49%
・朝の会、帰りの会	26%	33%	8%
・学年だより	28%	67%	48%

・学校だより	29%	50%	33%
・家庭訪問	3%	8%	2%
・分からない	11%	0%	7%

1.1 保護者との連携

[生徒] [教職員] [保護者]

(1) 保護者と連携して教育活動ができているか。(数値目標 60%)

・とてもできている・できている	62%	100%	61%
-----------------	-----	------	-----

(2) 連携できているのは

・行事への協力	53%	100%	61%
・提出物の期限内の提出	29%	50%	14%
・保護者から相談を受けた	8%	67%	22%
・保護者へお願いした	9%	42%	10%
・学校への意見	5%	33%	7%
・分からない	38%	0%	26%

1.2 地域との連携

[生徒] [教職員] [保護者]

(1) 地域と連携して教育活動ができているか。(数値目標 60%)

・とてもできている・できている	62%	100%	60%
-----------------	-----	------	-----

(2) 連携できているのはどんなときか。

・資源回収・除草作業	50%	92%	66%
・地域の方がゲストティーチャー	30%	67%	18%
・生徒の情報が寄せられるとき	18%	50%	10%
・市や県、国の方がゲストティーチャー	29%	17%	8%

社会に開かれた安全・安心な学級づくりのために

スクリレを活用し、情報提供をスムーズに行うことができました。さらに、分かりやすい情報提供を目指し、保護者向け文書のデジタル化を進めていきます。

コミュニティ・スクールが開設され、次年度から本格的な運営を行っていきます。生徒の安全面・学習支援面・環境整備面において、今後も保護者や地域の方々のお力をお借りして、質の高い学びの実現に向けて努力していきます。